

WINTER CUP 2025 プロアマトーナメント

JWA JAPAN TOUR 2024-2025 WAVE 第3戦（最終戦）

開催日：2025年2月1日（土）、2日（日）

開催地：静岡県牧之原市須々木海岸（御前崎市ロングビーチでの開催予定だったがコンディションにより変更）



本来は御前崎市ロングビーチで開催予定だったが、風の子報が北東予報となり、急遽須々木海岸へ変更することとなった。

連日ロングビーチでは西風がガツツリと吹いており、大会に向けて練習していた選手達だったが、ウィンターカップ開催のこの日程だけ「すっぱり」風が無くなってしまい、逆サイドの北東の風が吹く予報となってしまった。

補足として、簡単に場所を変更と言っているが、選手には大変な苦勞をかけてしまっている。

何故なら、西風が東風になると言うことは、右利きの人に、左手だけで文字を書くように言っている事と同じだからだ。

ウインドサーフィンは両サイド乗れるのが当たり前になっているが、他のスポーツからするとやはり特殊としか言い様がない。

ウインドサーフィンの WAVE 種目は、ウインドサーフィンの中で一番と言って良いほどに体の左右差が出やすい種目だ。

他のスポーツで両手両足を使うのが当たり前という物を見たことも聞いたこともないし、普段の生活で言えば、両利きの手と足を持った人にも会ったことがない。

それほど難しい事を行っているのだ。

2月1日(土)

大会初日は風が吹かない予報だった為、運営も選手も普段やらないゲレンデの為、入念に準備を行い、次の日に備えることとなった。

2月2日(日)

集合を早め、8時15分にアマチュアメンズクラスから競技を開始することとなった。

風は12~14m/s セイルは4.0~4.2と言ったところだったが、競技を始めるころには風が強まり、15m/s以上の風が吹いてきた。

スタボースイドの予定からポートサイドの競技となった為、ポートサイドで乗れる選手が試合を有利に進める形となった。

勝ち上がって来たのは、今井選手 vs 秋山選手、市川選手 vs 近藤選手。

今井選手 vs 秋山選手。波乗りには定評のある今井選手。逗子・葉山でウインドを行い、両サイド乗れる秋山選手。勝ち上がったのは、今井選手だった。秋山選手は良い波を捕まえ波乗りをするも、最後のターンを決めきれない事が多かった。

市川選手 vs 近藤選手。サイズのある波を捕え、良いポジションでトップターンを行う市川選手。

フォワードループが絶好調な近藤選手、波乗りも良いボトムターンをしている。

勝ち上がったのは、近藤選手となった。市川選手の波乗りにも高い評価が付くもジャンプの点数が伸びず敗退となった。

アマチュアクラスの決勝は、今井選手 vs 近藤選手。

波乗りでは今井選手がリードしているように見えるが、近藤選手も喰らいついていく。

波のサイズがやや落ち始め、波を捕えるのが難しくなっているのもあり、波乗りでの点数が伸びづらい。

ジャンプでは、近藤選手が初戦から繰り出しているクリーンなフォワードループを決め、今井選手からリードを奪うこととなった。

そのまま競技終了のフーンが鳴り、近藤選手がアマチュアクラス初優勝となった。



優勝 近藤知弥 選手



準優勝 今井昌典 選手

プロ・アマ ウィメンズクラス

人数の関係でプロクラスとアマチュアクラスを一つに行われた。

多賀須恵選手 vs 吉岡翔子選手、森美奈子選手 vs 秋田ふみ選手の対戦となった。

先にも述べたが、右側で練習していたのに突然左側でやると言われても体がついて来ない事がほとんどだ。ややオンショアの風向きで波もあり、潮の流れも速く沖へ出るのも大変なコンディションときている。そんな中でも多賀須選手は良いライディングだ。吉岡選手はポートサイドの風に苦戦している物の、なんとか波に乗ってきているが、やはり勝ち上がったのは多賀須選手だった。

森美奈子選手 vs 秋田ふみ選手、勝ち上がった方が多賀須選手と対戦することとなる。

森選手はポートサイドが苦手だと公言していたが、そこはベテラン選手、いい波を引いて良いライディングを行っている。対する秋田選手はまだ中学1年生の新人だ。

海に入るのも難しいコンディションだが、しっかりと沖まで出て乗っている。将来が楽しみな一人だ。

勝ち上がったのは森選手。多賀須選手 vs 森選手の戦いとなった。

多賀須選手が高さのあるストレートジャンプを繰り出す。森選手もジャンプをするが高さが及ばない。

波乗りは、森選手が良いサイズの波を引いて乗ってくる。多賀須選手は丁寧に波に乗っている。

ターンの比較をすると波のボトムにしっかり降りているか、トップに駆け上がる角度やスピードが上回っているのが多賀須選手だった。

ダブルイリミネーションも成立し、森選手と多賀須選手の再戦となったが、多賀須選手がこれも勝利し完全優勝となった。



優勝 多賀須恵選手



準優勝 森美奈子選手

プロ・アマメンズクラス

アマチュアクラスで勝ち上がって来た、近藤選手・今井選手・市川選手・秋山選手を加え、ヒート抽選を行い競技が開始された。

ベスト4に進んだのは、板庇選手 vs 野口選手、小林選手 vs 杉選手となった。

板庇選手 vs 野口選手

波乗りで定評のある板庇選手は、「ポートサイドは数える程しか乗ったことがない」と言っていたが、確実に波乗りに関してはリードしている様に見える。

だが、野口選手がバックループとプッシュループを決めて決勝へと進んだ。

小林選手 vs 杉選手

小林選手がバックループ・フォワードループと繰り出してくるが、さすがPWAを回っている杉選手という感じで、波乗りもジャンプもレベルの高い演技を披露し、余裕をもって決勝へと進んだ。

野口選手 vs 杉選手（シングルイリミネーション決勝）

先ず仕掛けたのは野口選手。沖に出て早々戻って来て道具チェンジから、速攻でダブルフォワードループ。

ジャッジ正面での迫力あるジャンプ。ややオンショアの為、セイルが左から右に向かって横軸に回転していく

姿は見ている者を楽しませてくれる。*サイドショアの場合沖に向かって縦軸の回転の為、今大会とは見え方が違うのだ。

杉選手は波乗りで見せる。オンショアのコンディションでしっかりとボトムに降り、トップへ縦に駆け上がっていく。普通ならスピードが落ちるが、杉選手はスピードに乗ったままだ。

後半はジャンプを中心に動く。ダブルフォワードループ、シフティー、バックループ、プッシュループと技のオンパレードだ。

杉選手の圧巻の演技でシングルイリミネーション1位となった。

続けてダブルイリミネーション（敗者復活戦）がスタートした。

勝進み、4位の板底選手に挑戦したのは、吉武選手だった。

吉武選手が残り時間1分を切った所で、バックループとフォワードループを決めギリギリの所で勝ちあがり、3位の小林選手に挑戦することとなった。

小林選手に挑んだ吉武選手だったが、ここで力尽きあえなく敗退、4位でフィニッシュした。

2位の野口選手に小林選手が挑戦することとなった。

オンショアが強まり、波乗りをバックサイド中心で組み立てる小林選手に対し、フロントサイドでの演技を中心に行う野口選手。ジャンプでも小林選手を上回り、野口選手が勝ち進んだ。

杉選手に再挑戦する野口選手。これで野口選手が勝てば、グランドファイナルとなりもう一度二人の対戦で勝った方が優勝と成るのだが。

ジャンプではダブルフォワードループ・バックループ・プッシュループと難易度の高いジャンプを持っている二人だが、ジャンプは杉選手が少しずつ上回る演技を披露し、波乗りでは唯一スピードに乗ったターンを繰り返し、文句なしの完璧な形で完全優勝を果たした。



優勝 杉匠真選手



準優勝 野口颯選手

ウィンターカップ写真

<https://www.facebook.com/media/set/?set=a.1115049083751022&type=3>

この活動は、スポーツくじの助成金を受けて行っています。

[スポーツ応援サイト GROWING by スポーツくじ\(toto・BIG\)](#) [スポーツくじによるスポーツ振興助成について](#)

WINTER CUP 2025 PRO-AMA TOURNAMENT

FEB.1-2.2025



JAPAN WINDSURFING ASSOCIATION

J-7 TAKUMA SUGI



J-39 RYU NOGUCHI



- 大会名：WINTER CUP 2025 プロアマトーナメント
JWA JAPAN TOUR 2024-2025 WAVE 第3戦
- 開催日：2025年2月1日（土）、2日（日）
- 開催地：静岡県御前崎市ロングビーチ

- 主催：JWA（一般社団法人日本ウインドサーフィン協会）
- 後援：御前崎市
- 協力：御前崎 渚の交番
- 助成：（独）日本スポーツ振興センター 振興くじ助成金